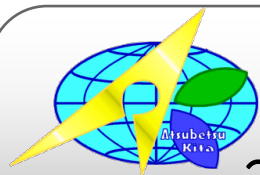


学校教育目標：未来に向かい 豊かな心で たくましく生きる生徒



23.4° ～遙かなる夢と ロマンを求めて～

札幌市立厚別北中学校 学校だより No.3
令和8年6月26日発行



3年生修学旅行の様子

「かけがえのない時間」

3学年主任

5月21日(木)～23日(土)に修学旅行が行われました。雨の心配もありましたが、なんとか天候にも恵まれ、大きな事故、怪我もなく戻ってくることができ、一安心しております。

例年よりも遅めのJRで出発し、早めのJRで札幌に戻ってくることとなり、この三日間の時程はかなりタイトなものとなりました。「時間を自分たちで考えながら行動する」というのは、事前のステップアップ活動でも意識的に取り組んでいた3学年の課題でしたが、まわりと声を掛け合いながら、タイトなスケジュールを協力してこなしていく当日の姿はとても立派でした。また、ホテルの方やバスの運転手さんへの挨拶は、見ていてどこか誇らしくなるような、そんな素敵な挨拶が飛び交っており、成長を感じました。厚別北中学校の伝統である「TPO」への意識が、3年生の中にも着実に定着しており、今回のような場面で発揮されたのかと思います。

多くの成長を感じられる3日間でしたが、なにより良かったことは、学級、学年の仲がより深まったことかと思えます。自由時間は仲のいいグループで過ごすのではなく、学級全員で集まっていたり、学年レクでは自分たちだけでなく、みんなで楽しもうと周りのことを考えながら参加していました。この3日間を共に過ごした時間は、かけがえのない時間だったかと思えます。ですが修学旅行が終わっても、たくさんの思い出を、この学年の仲間たちと増やしていくことができるので、1日1日を大切に過ごしてほしいです。

3年生には今年度、受験が待っています。苦しいこともつらいこともあると思いますが、修学旅行で深めた仲を武器に、学年全体で立ち向かってほしいです。

最後に保護者の皆様におかれましては、お弁当の準備や、駅までの送迎等たくさんの場面で御協力いただきました。心より感謝申し上げます。これからも厚別北中学校の学校活動に御理解・御協力をお願いいたします。

何枚の写真より大切な時間

3年

修学旅行がはじまる前、私は「たくさん写真を撮りたい」と思っていた。修学旅行でしか見られない景色や楽しい瞬間を写真に残せばずっと思い出として残ると思っていたからだ。しかし、修学旅行が終わった今、一番心に残っているのは写真ではなく、仲間と過ごした時間だった。班行動では、思っていたよりも大変なことがたくさんあった。予定通りに進まなかったりして、少し焦る場面もあった。でも、そんなときに「じゃあ次はこうしよう」「大丈夫、大丈夫」と声をかけ合いながら行動できたことで、自然とみんなとの距離が縮まっていた。ただ楽しいだけではなく、協力することの大切さを感じることができた。

私が特に忘れられないのは、バスの移動時間だ。最初は長い移動時間になると思っていたけれど、実際はあっという間に感じるほど楽しかった。クイズやゲーム、カラオケを楽しむ中で少しずつみんなの距離が縮まり、バスの中の空気がどんどん明るくなっていった。ただ移動するだけの時間ではなく、みんなで楽しさを共有できる時間になった。もちろん写真を見返せばその時の景色や出来事を思い出すことはできる。でも本当に大切だったのは、写真には写りきれない空気や感情で、みんなで笑った声や、何気なく交わした会話は写真以上に心の中に残っている。

【お知らせ】 5月26日(火)に行われました学校教育説明会では、「市立学校における働き方改革プラン」が策定されたことを受け、本校の取組として転送電話の設定時間変更についてお伝えいたしました。

つきましては、6月29日(月)より、本校の転送電話時間をこれまでの19時30分から19時15分へ変更いたします。また、部活動休養日及び長期休業中は17時00分から転送電話といたします。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

「実りある2日間」

2学年主任

5月12日(火)から1泊2日の十勝方面への宿泊学習を実施しました。準備期間が短い中でしたが、宿泊学習の成功に向けて、実行委員会を中心に各係で様々な準備を重ねて当日を迎え、笑顔溢れる2日間となりました。

十勝晴れの空の下、生徒の皆さんの全力で楽しむ姿や仲間を気遣う姿、自分の役割を果たすべく奮闘する姿などが見られ、去年からの成長が感じられました。新学級になってからまだ1か月という時期でしたが、仲間と寝食を共にする中で、相手のことをよく知り、自分のこともよく知ってもらうことで、学級や学年の仲を深めていく様子を見られたことを嬉しく思います。たった2日間、されど2日間。たくさんの成長や学びが詰まったこの宿泊学習の経験をこれからの日常生活につなげ、よりよい学級や学年集団として成長していくことを願っています。

いいところに目を向けよう

2年

五月十二日、火曜日。僕は不安な気持ちで家を後にした。自分の仕事をしっかりこなせるか心配だったからだ。昨日の結団式でも、自分の役割を理解せずにやり、失敗していた。その後は当日に向けていろいろ確認したが、どこかに穴があるかもしれないというきょうふ心があった。学校に着き、みんなの前についた。出発集会の司会だからだ。しかし一向に始めることができない。何かミスがあったようで、時間が遅れてしまったが、何とかミスなく終えることができた。次に緑が丘公園に到着。昼食をすませ、班別研修の時間がスタート。そしてここで事件発生。一人がトイレに行き迷子になってしまった。一人でトイレに行かせたのは判断ミスだった。幸い合流できたが、これは反省だ。エコロジーパークに着いた。ガイドの人に教えてもらいながら、十勝の美しい自然に触れていった。それが終わるといよいよフワフワドームだ。思っていた以上に楽しかった。この時、不安が頭から出かけていき、楽しさしか感じていなかった。僕たちは三十分間ひたすらはねていた。ホテルについても楽しいばかりだった。お風呂に自由時間は一生の思い出だ。しかしまた不安な気持ちに戻ってきた。学級・実行委員会ミーティングだ。しっかりみんなにつたえる勇気がなく、相方に任せきりだった。しかし、その分反省をしっかり行うことができた。すると、悪いところだけでなく、良いところもあったことに気づいた。自然と自信がわいてきた。そのおかげか、二日目は自信をもって仕事に取り組むことができた。そして楽しみ切ることができた。今回の宿泊学習では、悪いことを反省するのは当然だが、良いところの反省も同じくらい大切なものだと思った。これは、自分のモチベーションをあげられるので良いと考えた。ほかの人に対しても悪い点と良い点など、色々な視点から見て生活したい。

「さらなるステップアップ!」

1学年主任

5月29日(金)に行われた校外学習。この1日のために実行委員会をはじめとする各係がそれぞれ活動し、またステップアップ活動で日常生活から見直し、準備を重ねてきました。前日から雨が降り、学年レクの実施は見送る形となりましたが、無事に終わることができ、安心しています。当日は普段以上に時間を意識しつつ、お互いに声を掛け合って活動しており、たいへん立派でした。たった1日でしたが、集団で行動する難しさや、楽しさを実感できたのではないのでしょうか。この経験を1日だけのものにするのではなく、日常生活でも生かしながら、さらにステップアップする姿を楽しみにしています。

最後に保護者の方々におかれましては、行き帰りや昼食にかかわり、たくさんの御協力をいただきましたことを感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

みんなでつくった最高の「思い出」と「虹」

1年

今回の校外学習、みんなと協力して、一つの虹を作れました! ぼくは、班長で、みんなをまとめる役をしていました。事前学習では、積極的に意見を言って、他の人の意見も聞いて、スムーズに話を進めることが出来たので、当日もスムーズに進むと思っていました。けれど、早く進みすぎたり、おくれていたり、たくさんの方がいたり...といろいろなハプニングが起きました。その度に仲間と協力して、楽しいけんしゅうにできました。前のことで学んだことは「臨機応変に対応する」ということです。いつもなにが起るかわかりません。その時にその場に合うように対応するとスムーズに進みます。次は、博物館です。雨のえいきょうでレクはできなくなりましたが、博物館も楽しかったです。博物館では、開拓の村と同じように、班行動でした。班行動になると、自分の好きなように移動できません。その時に、「こっちはかない?」や「どこか行きたい所ある?」など、相手のことを考えて、話したり、行動することが出来ました。さらに、どこか他の所に移動するときも、仲間と行動することが出来ました。次は、当日解散集会の司会です。事前に委員会で担当を決めたり、ほかの委員長さんも呼んで練習して、自信はありました。当日、実際にやってみて、最初は少ししゃべっている人もいたけれど、こっちに気が付いて、きちんと話を聞いてくれて、スムーズに進んで、トラブルもなく、無事にできました。今回の校外学習で、たくさんのことを学びました。今回のみんなの「言葉」「行動」「笑顔」で、最高の思い出と、すてきな一つの虹をつくれたと思います。これからも、今回のことを活かして、生活していきたいです。